



発行責任者 / 小林 政氏

発行日 / 2008年11月1日

所報タイトル「感謝」は所内で掲げる

平成20年度の目標です。

ISO9001 2000 認証取得  
B0601 0002RCS

ANAB

● 会計 ● 税務 ● 経営コンサルティング

**小林合同会計**

所長税理士 小林 政氏  
税理士 山野 基尚 税理士 須賀 保雄

〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号  
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602  
<http://www.e-cg.co.jp>

この所報のバックナンバーは弊所ホームページにて掲載しております。

## ISO内部監査及びISOマネジメントレビューを終えて

平成20年10月27日(月)にISO内部監査を、続いて11月1日(土)にISOマネジメントレビューを実施いたしました。

当事務所は、平成17年1月にISO9001(品質マネジメントシステム)を認証取得しました。一般的に品質マネジメントシステムとは、製品の品質管理を意味します。当事務所における品質マネジメントシステムとは、所内の漠然とした業務プロセスを明確にし、管理体制を整えることで、顧問先様方の要求に答えられるサービスを提供していくことです。

今回実施しました内部監査とは、品質活動及び関連する結果が、計画通りになっているか否かを検証するために実施するもので、年に2回、4月と10月に所員が監査員となり所内を監査することです。また、マネジメントレビューとは内部監査の結果を受け、品質方針および品質目標を含む品質マネジメントシステム変更の必要性を確認する場であり、こちらも年2回、6月と11月に実施しております。

内部監査及びマネジメントレビューを通し、顧問先様方により満足していただけるサービスを提供できるように今後とも努力してまいりたいと思います。

## ㈱関東セーフティ様 協力会 安全衛生推進大会開催

平成20年11月5日（水）

18:30より㈱関東セーフティ様の安全衛生推進大会が当事務所4F会議室にて執り行われました。

代表取締役 石田 政一様 の挨拶では、安全に対する考え方や協力会が一丸となって事故を防ぐことの重要性などが示されました。



また、小林所長の講演ではビジネスマナー研修を行い㈱関東セーフティ専務取締役の 葩島 達也 様の閉会の挨拶によって締めくくられました。仕事終りの遅い時間にもかかわらず沢山の協力会会員の皆様がお集りになり、大変有意義な大会になりました。

### いろはにほへと

#### 1. いろは歌

いろは歌は弘法大師の作と伝えられ、仏教の哲理が遺憾なくよみこまれています。

この歌を「いろはにほへと」と棒読みにしたのでは、何の意味かわかりません。しかし、

いろはにほへと — 色は匂えど  
ちりぬるを — 散りぬるを  
わかよたれそ — わが世たれぞ  
つねならむ — 常ならむ  
うみのおくやま — 有為の奥山  
けふこえて — 今日越えて  
あさきゆめみし — 浅き夢見じ  
ゑひもせず — 酔いもせず

と読むと、この歌のもつ意味が、はっきりしてきます。

#### 2. 歌の大意

この歌の大意は、美しく咲いている花も、やがて散る運命にある。世の中のこともまったく同じで、たえず移り変わっている。世間の姿はすべてはかないもの、うつり変わるものである。人々はこの「はかなさ」のなかにありながら、これに気づかず、酔生夢死（酔ったような生活、夢見ているような生き方）の生活をつづけている。ちょうどそれは、旅人が暗闇の山奥に迷っているようなものである。だから明日といわず、今日ただ今、この迷いの生活からぬけ出して、めざめの生活に切りかえるべきである。

以上のような意味であります。

### 3. はかなさ

人の世ははかない。

「人の命は食事のときむせて死することもある。南無阿弥陀仏とかみ、南無阿弥陀仏とのみこめ」と法然上人もお示しになっています。「はかなさ」のなかに生きる私たちは、いつでも死の魔縁と対決し、どこでも死の万縁にとりつかれているのです。この理に気がつかず、いたずらに長寿を夢みたり、利害得失にうき身をやつす姿は、あさましいかぎりがあります。この生きざまを酔生夢死といい、またねむりの生活ともいうのです。一時も早くこのねむりの生活を、めざめの生活にきりかえなければなりません。

### 4. 時は今

ねむりからめざめへの転換、それはいつであるべきでしょうか。

「有為の奥山 今日越えて」と教えているのです。

「今日越えて」の一句に重大な教えがあるのです。

今日である。明日ではおそいのです。今日ただ今立ちあがれ、というのです。

人生五十年とか七十年とかいいますが、要するに「今」、「今」の連続であります。

「今」以前の私のねむりの生活であった。「今」以後の私の生命の保証はないのです。

してみれば、私の生きることは「今」をおいてないのです。「今」こそ私の生命であり、私の人生なのです。「今」「この場所で」「このことを」はなれた私の人生はないのです。

人生とは結局「今」「ここで」「このこと」の連続だったのです。



「秋」

伊藤清子

いとしき  
しんじゆ

朝夕とだいぶ冷え込む季節となりました。食欲・読書・スポーツの秋ですが、皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか。我が家は、もっぱらスポーツの秋と言ったところでしょう。娘二人がミニバスをやっている為、よく試合観戦に出掛けます。「リバウンド!・ドンマイ!・ディフェンスしっかり〜!」等々。つつい応援にも力が入ってしまい、大きな声を出している自分にふと気が付くと、恥ずかしくもあり、おかしくもあり、苦笑してしまいます。もっぱら私のストレス解消になっている様ですが・・・。見ているだけでなく自分でも「何かやらねば」と思いつつ、やりたいものがみつけれないまま、季節が過ぎて行ってしまいそうです。少しは、コスモスの香り、秋の空、鈴虫の声といったところで、ちよつと大人の秋を感じていきたいものです。

さあ、季節が終わりをつける前に秋を満喫しなくては・・・。  
スポーツの秋、そして落ち着かない日々がしばらく続きそうです。

